



7 【南方八幡宮(みなみがたはちまんぐう)】

- ・山村の丘陵地にあり、應神天皇、仲哀天皇、神功皇后、などが祀られています。
- ・天平勝宝3年(751)厚東武忠の四世、白松太夫武綱が宇佐八幡宮(大分県)から神を招いて東岐波の古尾にお社を建て、その後、北方(北方八幡宮：山口市)と南方(当地)に分けたとされています。



6 【四十段(しじゅうだん)】

- ・南方八幡宮へ西側(片倉、請川地区)からお参りする路です。
- ・さて階段は何段あるでしょうか。



5 【沢波川河畔(さわなみがわかはん)】 (東和町自治会館前)

- ・川面を泳ぐ鯉を眺めるのもよし、川は季節によって色々な顔を見せてくれます。

にしきわ音頭

滝田常晴作詩／石本美由起補作詩
市川昭介作曲／甲斐靖文編曲

にしきわ音頭
都はるみ
コロムビア・オーケストラ

一、瀬戸の朝風 黄金の波に
みなと 床波 たから船
真鯛 黒鯛 いきいきと
みんな仲間に ひとおどりで
踊れ 西岐波 音頭で踊りや
どんと どんと 盛りあがる
宇部をささえる ころろ意気

二、浜は白土 なぎさの砂に
夏は 水着の 花が咲く
誰を松風 常盤湖にや
遊ぶ白鳥の 仲の良さ

三、つくる野菜と 沢庵漬は
引く手 あまたの 味のよさ
人は 住みよい 暮しよい
ベット タウンの 窓あかり

四、周防片倉 北向地藏
お礼参りの ご縁日
あつい情けの 湯煙りに
笑顔 うれしい お湯の宿

名所・遺跡・史跡について

名所など写真の下には、紙面の都合上短く解説しています。詳しいことをお知りになりたい方は、西岐波ふれあいセンターに資料がありますのでご利用ください。また、短い解説で正確に伝わるよう十分に配慮しておりますが、もしご意見がございましたら、次の機会に反映させたいと思いますので同センターまでご連絡ください。

説明の中に多く出ている『注進案』とは正しくは『防長風土注進案(ぼうちょうふうどちゅうしんあん)』といい、今からおおよそ170年前に毛利藩が作成した防長二州全域の各村落の沿革・地理・産業・経済・社会・習俗等の実態を細大もらさず綿密に調査した記録です。

山口県のみならず、わが国の近世史研究上でもきわめて高く評価されている第一級の史料集です。